知立市歴史民俗資料館

年　報

令和６年度

目　　次

資料館概要
沿革・施設
沿革 ・・・ 2
施設 ・・・ 2

資料館事業概要
展示活動
常設展示 ・・・ 3
〇ジオラマをリニューアルしました ・・・ 4
季節展示 ・・・ 5
特集展示 ・・・ 6
ミニ企画展示 ・・・ 7
教育・普及活動
GW（ゴールデンウィーク）イベント ・・・ 8
歴史民俗資料館講座「土器づくり」 ・・・ 8
愛知やきものヒストリー2024 ・・・ 9
歴史民俗資料館講座「初心者のための古文書」 ・・・ 9
永見貞愛生誕 450 年記念講演会「お万の方と息子たち」 ・・・ 10
市内小学校３年生の見学 ・・・ 11
職場体験 ・・・ 11
出前講座 ・・・ 11
収集・保存活動
寄贈資料 ・・・ 12
購入資料 ・・・ 12
寄託資料 ・・・ 12
受領図書 ・・・ 12
利用状況
貸出・閲覧資料一覧 ・・・ 19
月別来館者数 ・・・ 20

文化財保護事業概要
文化財保護事業
文化財保護 ・・・ 21
埋蔵文化財事業 ・・・ 22

文化振興事業概要
文化活動推進事業
義太夫お試し教室 ・・・ 23
第 16 回知立市小中学生百人一首大会 ・・・ 23

条例・規則
知立市歴史民俗資料館条例 ・・・ 25
知立市歴史民俗資料館管理規則 ・・・ 26
知立市文化芸術基本条例 ・・・ 28

資料館概要

沿革・施設

沿革

知立市歴史民俗資料館は、昭和 53 年に開館した「知立市郷土資料館」を前身としています。

郷土資料館は知立中学校の西北（現広見 2 丁目 1 番地辺）の場所に建っていた旧法務局庁舎を改修してつくられ、知立の歴史や民俗に関する資料を主に収集・展示していました。

その後、建物の老朽化や狭小さから新資料館建設の要望が高まり、昭和 62 年 10 月 22 日、市立図書館と併設する形で現在の歴史民俗資料館が開館しました。



資料館・図書館外観



資料館展示室入口

施設

南西向きの 2 階建てです。中央の正面玄関を入ると、ロビーのある共用スペースを挟んで右が図書館スペース、左が資料館スペースとなっています。また建物南側には緑豊かな知立新地ドリームパーク（新地公園）が広がり、市民の憩いの場となっています。

敷地面積　4,950 ㎡　　建築面積　658.11 ㎡　　延床面積　1,140.48 ㎡

1 階展示室 207.45 ㎡　　1 階収蔵庫 88.46 ㎡

2 階展示室 172.95 ㎡　　2 階収蔵庫 124.25 ㎡　　特別収蔵庫 21.90 ㎡

燻蒸室 9.67 ㎡　　整理作業室 58.73 ㎡

事務室 28.65 ㎡　　その他

構造　鉄筋コンクリート造地上 2 階建一部塔屋

所 在 地　　〒472-0053　知立市南新地二丁目 3 番地 3（TEL 0566-83-1133）

開館時間　　午前 9 時～午後 5 時

休 館 日　　毎週月曜日（祝日は開館）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、
館内整理日（毎月第 4 金曜日）、特別整理期間（年 10 日以内）

入 館 料　　無料

交通機関　　名古屋鉄道名古屋本線　知立駅下車　徒歩 10 分

資料館事業概要

展示活動

常設展示

＜1 階＞　知立の歴史的な特色を紹介する 3 つのコーナーを設けています。

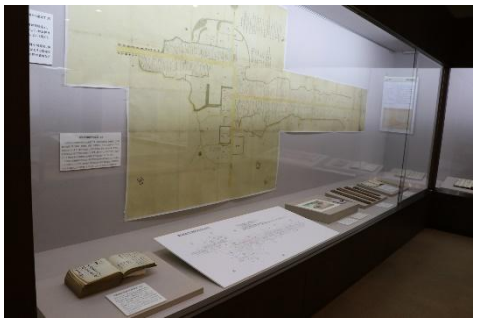
【知立神社と知立まつり】

当地の地名「知立」を冠する知立神社とその祭礼「知立まつり」を紹介しています。

知立神社は高い神階を持つ式内社であり、また江戸時代にはマムシ除けのご利益で広く知られた名社です。毎年 5 月 2 日、3 日には境内で「知立まつり」が行われます。知立まつりの本祭（隔年）に奉納される「知立の山車文楽とからくり」は、平成 2 年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成 28 年には全国 33 件の「山・鉾・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



ここでは知立神社・知立まつり・山車文楽とからくりに関わる資料を展示するほか、知立まつりや秋葉まつり等の映像を時期に合わせて上映しています。



【池鯉鮒宿】知立には江戸時代、品川から数えて 39 番目の東海道の宿場「池鯉鮒宿」がありました。ここでは宿場の様子を詳細に描いた絵図や、本陣・問屋場などに関わる資料、広重が描いて知られた馬市をはじめとする池鯉鮒宿の浮世絵や旅道具などを展示しています。また旅籠を模したコーナーも設置し、当時の様子を再現しています。

【八橋と伊勢物語】

『伊勢物語』第九段で詠まれた「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の歌とともに広く知られた名所“八橋”を紹介しています。



『伊勢物語』の版本や主人公とされる在原業平に関わる資料、また江戸時代に八橋再興をこころみた方巌売茶に関係する資料などを展示しています。

※特別展・企画展の際は、1 階展示室の一部を会場とするため、常設展示はその間、撤収しています。

＜2 階＞　当地の原始・古代・中世の出土資料を展示するほか、近代の農具やくらしの道具、戦時資料などを展示しています。また明治２年に成立した重原藩の大参事をつとめ、のちに自由民権運動や政治家として活躍した内藤魯一に関するコーナーも設置しています。









＜民家＞

２階展示室の中央にある、民家の一室をイメージした展示スペースです。

今年度は、「昭和の遊び」と題して、けん玉やだるま落とし、花札をはじめとした懐かしの玩具を展示しました。



○ジオラマをリニューアルしました

昭和 62 年(1987)開館当時より設置していた常設展のジオラマを一新し、プロジェクションマッピングで地形模型に映像を投影し当市の成り立ちや文化財等について学ぶことができるジオラマを制作しました。

本事業は、「デジタル技術を活用した知立市の魅力発信パッケージ事業」の一部としてデジタル田園都市国家構想交付金の支援を受けて行いました。

〈概要〉

タイトル：ジオラマ・プロジェクションマッピング「見て！探して！ちりゅう」

内容：①「知立の地形・地質」（2 項目／各 5 分程度の映像・投影）

②「知立の成り立ち」（6 項目／各 5 分程度の映像・投影）

③「知立の文化財・寺社アラカルト」（132 項目）

④「知立マップコレクション」

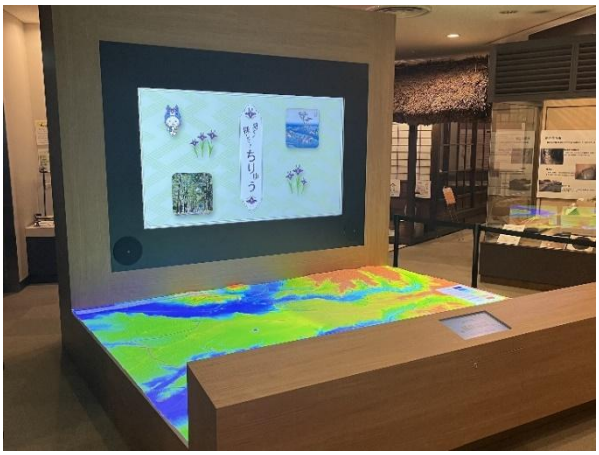
制作：知立市歴史民俗資料館・株式会社ユーフォニック

設置場所：知立市歴史民俗資料館　2 階展示室

稼働日：令和 7 年 4 月



旧ジオラマ



新ジオラマ

季節展示　＜五月人形＞

例年 4 月末～5 月末にかけて、五月節句飾りを展示しています。大正から昭和時代の五月人形や兜、土人形、こいのぼりなどを飾っています。今年度は常設展の一部と図書館の展示コーナーにおいて、五月飾りを展示しました。さらに、令和 2 年度にナスもル知立様からご寄贈いただいた手作り段ボール甲冑を設置し、合戦風景を背景にして甲冑と写真を撮ることができる撮影コーナーとしました。





特集展示

知立の山車文楽とからくり～ユネスコ登録へのあゆみ～　10 月 26 日 ～ 12 月 26 日

□　展示趣旨



平成 28 年 11 月 30 日(現地時間)に「知立の山車文楽とからくり」を含む全国 33 件の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、今年で 8 周年を迎えました。

「知立の山車文楽とからくり」が披露される知立まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響によって令和 2 年から中止を余儀なくされていましたが、令和 5 年より再開し、今年行われた本祭にて「知立の山車文楽とからくり」が 6 年ぶりに山車の上で上演されることとなりました。

そのような節目の年ともいえる本年、ユネスコ無形文化遺産登録 8 周年を迎えることを記念して特集展示を開催しました。登録までのあゆみを振り返るとともに、登録に伴って行われた様々な取り組みを紹介しました。

□　会場　　1 階展示室

□　入場料　　無料

□　印刷物　　A4 チラシ、 ポスター

□　期間中の入館者数（会期日数）　　3,143 人（46 日間）

□　主な展示資料

・ユネスコ無形文化遺産登録証明書
・ユネスコ無形文化遺産登録認定書(複製)
・中日新聞特別号「山・鉾・屋台行事 無形文化遺産登録」







ミニ展示

おひなさま

2月1日 ～ 3月25日



□ 展示趣旨

3月3日のひなまつりは、雛人形を飾り、女の子の健やかな成長を願う行事です。

このミニ展示では、当館がもつ様々な時代・形態の雛飾りの中から厳選した一部をご紹介しました。

□ 会場　1階展示室

□ 入場料　無料

□ 印刷物　A4チラシ、 ポスター

□ 期間中の入館者数（会期日数）　4,713人（44日間）

□ 主な展示資料

・御殿飾り
・おもちゃ絵
・親王飾り

□ 関連イベント

ひなまつりスタンプ・シールラリー（2月1日～3月9日）

愛知県内の33館のおひなさま展示館をめぐる「ひなまつりスタンプ・シールラリー」に参加しました。

記念品には、3館賞に「絵はがきセットもしくはクリアファイル」、6館賞に「ちりゅっぴマグネットマーカー」をご用意しました。



教育・普及活動

GW（ゴールデンウィーク）イベント

＜クイズラリー＞



□　**日時**　　4 月 27 日（土）～5 月 6 日（月・祝）開館中随時

□　**場所**　　1・2 階展示室

□　**内容**　　常設展示を回りながら、「ふつう」（10 問）や「むずかしい」（10 問）のクイズに答え、楽しく知立の歴史を学ぶクイズラリーを開催しました。

歴史民俗資料館講座「土器づくり」

□　**日時・場所**

第 1 回　土器づくり　5 月 19 日（日）午後 1 時 30 分～4 時
　　土器焼き　　6 月 23 日（日）午前 10 時～正午　※雨天のため中止

第 2 回　土器づくり　10 月 27 日（日）午後 1 時 30 分～4 時
　　土器焼き　　11 月 23 日（土）午前 10 時～　　※強風のため体験のみ

場　所　土器づくり　知立市図書館 2 階　視聴覚室
　　土器焼き　　荒新切遺跡



□　**内容**

知立市指定の史跡「荒新切遺跡」に親しんでいただく目的で小学４年生以上を対象に行っている講座です。野焼き用の粘土を使い、ひも状にして輪積みする方法を基本として、当市で出土した土器を見本に制作しました。

焼成の際は、木の土台の上に土器を並べ、上部に木組みを作った後、小さい木切れや落ち葉などをかけて燃やし、自然鎮火するまで焼きました。その間、遺跡説明や、舞ぎり式の火起こし体験・弓矢体験も行いました。



□　**参加者**　定員 16 名

第 1 回　10 名

第 2 回　15 名

愛知やきものヒストリー2024

瀬戸や常滑といった日本を代表するやきものの産地を抱える愛知県では、やきもの関連の資料を所蔵する美術館・博物館が多く存在します。愛知やきものヒストリーは、これらの館が協力し、期間内に共通のテーマで展示をおこなうことで、愛知県のやきものの歴史や文化について親しみながら学んでいただくことを目的として開催しています。各館で配布しているシールを集めると、シール数に応じて景品がもらえます。

令和 6 年度は「家とやきもの」をテーマに、各館選りすぐりの一品を展示しました。当館では、池鯉鮒宿にあった旅籠に伝わる奈良茶碗を展示しました。



- □ **期間**　令和 6 年 7 月 13 日（土）～ 9 月 8 日（日）
- □ **主催**　県内 20 館
- □ **景品**　3 館賞：各館で用意。当館は浮世絵ポストカード 3 枚セット、山車文楽とからくりクリアファイル、ウノカマキリ氏イラストマスキングテープより 2 点。
  愛知のやきもの賞：軒丸瓦花器
  パーフェクト賞：シーラカンス蓋物

歴史民俗資料館講座「初心者のための古文書」

歴史に興味があるけれど、古文書についてはよく分からない…そんな初心者の方を対象として、古文書とは何か、古文書の読み方の基本やポイントを学ぶ入門講座を開催し、古文書に親しみ理解を深めていただく機会としました。

- □ **講師**　長屋隆幸氏（名城大学非常勤講師）
- □ **日程**　令和 7 年 2 月 16 日（日）午後 1 時 30 分～3 時
- □ **場所**　知立市図書館 2 階　視聴覚室
- □ **内容**　往来物、寺送り一札
- □ **受講者**　24 人





永見貞愛生誕 450 年記念講演会「お万の方と息子たちー永見貞愛と結城秀康ー」

知立神社ゆかりの人物、お万の方と家康の子永見貞愛の生誕 450 年を記念して、その母親であるお万の方にスポットを当てた講演会を実施しました。あらためて知立ゆかりの人物を広く知ってもらう機会となりました。

- □ **講師**　杉浦茂氏（知立市文化財保護委員会委員長）、中川貴皓(当館学芸員)
- □ **日程**　令和 6 年 12 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～4 時 20 分
- □ **場所**　知立市図書館 2 階　視聴覚室
- □ **内容**　講演①「高野山奥之院石廟のなぞ-お万の方の双子への思いー」（杉浦茂氏）
  講演②「どうなの？お万さん！ーゆかりの地をご紹介ー」（中川学芸員）
  トークセッション「お万の方の実像に迫る！！」（杉浦茂氏、中川学芸員）
- □ **受講者**　41 人









市内小学校３年生の見学

社会科「昔のくらし」の学習の一環として、毎年市内の小学３年生が昔のくらしの道具について学びに来館します。令和６年度はジオラマリニューアルに伴う工事の関係もあり、市内７校の内、１校の来館となりました。

１階では常設展や企画展の見学のほか、パネルを用いて知立市域における市街地化の変遷について説明を行いました。２階では、クイズを出しながら昔の道具について説明しました。展示説明はそれぞれ15分程度とし、残りは自由に見学しながら職員に質問する時間としました。

見 学 日	学 校 名	来館児童数
７月３日（水）	知立西小学校	80人



職場体験

今年度は、市内外から中学校の職場体験の受け入れ依頼がありました。

展示案の作成のほか、埋蔵文化財整理作業やイベント準備、土器づくり体験、図書整理など当館で行っている様々な活動の体験を行いました。

体 験 日	学 校 名	生徒数
５月29日（水）～31日（金）	安城市立篠目中学校	４人
12月４日（水）～６日（金）	知立南中学校	３人





出前講座

７月９日（火）知立市郷土研究会　テーマ「池鯉鮒宿本陣御宿帳」

12月10日（火）知立市郷土研究会　テーマ「八橋宿を考える」

収集・保存活動

寄贈資料

新規寄贈なし

購入資料

新規購入なし

寄託資料

新規寄託なし

受領図書

寄贈者（敬称略）	書名
INAXライブミュージアム	LIVING＆CULTURE MAGAZINE BY INAX MUSEUMS #3～#4
愛荘町教育委員会	愛荘町・町内遺跡発掘調査報告書／名勝金剛輪寺明壽院庭園保存活用計画書
あいち朝日遺跡ミュージアム	あいち朝日遺跡ミュージアム研究紀要 第4号／あいち朝日遺跡ミュージアム年報 4―2023年度―／企画展「弥生時代の食事情」
愛知学院大学文学部歴史学科	愛知学院大学考古学発掘調査報告38 広久手C3窯跡 広久手F窯跡 第4・5次発掘調査概要報告書／愛知学院大学考古学発掘調査報告書37 愛知県田原市宮西遺跡再整理調査報告書
愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会	あいちのたてもの まちのシンボル編
愛知県公文書館	愛知県公文書館だより 第29号
愛知県生涯学習推進センター	まなびぃあいち No.80～82
愛知県政策企画局	あいちのトビラ 2025
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第222集 万瀬遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第223集 姫下遺跡Ⅱ・寄島遺跡Ⅱ・下懸遺跡Ⅲ／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第224集 南山町遺跡 白木遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第225集 引田遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第226集 断夫山遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第227集 大畑遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第228集 大崎遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第229集 内貝津橋遺跡／愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第230集 吉田城址 飽海遺跡／愛知県埋蔵文化財センター 令和5年度年報／愛知県埋蔵文化財センター 研究紀要 第25号／愛知県埋蔵文化財センター年報 令和6年度
愛知県埋蔵文化財調査センター	愛知県埋蔵文化財試掘・確認調査報告書―令和5年度―
愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学 学報 No.72／愛知県立大学法人 愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 年報 令和4・5年度 第5号

寄贈者（敬称略）	書名
愛知大学綜合郷土研究所	愛知大学綜合郷土研究所ブックレット34 田原藩義倉・報民倉 民に報いたいと願った大名／愛知大学綜合郷土研究所紀要 第69輯／愛知大学綜合郷土研究所紀要 第70輯／愛知大学特別重点研究 愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究 成果報告書続編／企画展「源氏物語のゆかり展ー三河・尾張・南信の古典籍と文物ー」
熱田神宮宝物館	熱田神宮宝物館だより No.258～264/秋季企画展「館蔵 美濃と尾張の刀剣」／新春特別展「吉兆の神獣ー神話から現代までー」
新居関所史料館	新居関所史料館 旅籠紀伊国屋資料館 年報 令和4・5年度
安城市教育委員会	安城市文書資料集成 第12集 「安城市内村絵図集（改訂版）」／安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第50集 史跡 本證寺境内 II ／安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第52集 安城市西鹿乗地区の遺跡III 東上条遺跡 菱田遺跡 根崎遺跡ー県営担い手育成基盤整備事業に伴う発掘調査報告書ー
安城市歴史博物館	れきしみち No.132～135／安城市歴史博物館研究紀要 第二七号／安城市歴史博物館研究紀要 第二八号／安城市歴史博物館年報 第33号／企画展「はたらく道具たち」／企画展「季節を祝う」／特別展「国絵図の世界ー描かれた江戸時代の三河ー」／特別展「地震と災難ー宝永地震から三河地震までー」
一宮市博物館	いちのみやまるごとミュージアム 屋外アートマップ／一宮市博物館だより No.67／企画展「戦時下の一宮」展示解説書／所蔵品による企画展「版画芸術 棟方志功を中心に」／令和元年度企画展「真清田神社」／令和2年度企画展「禅僧の書」／令和3年度企画展「くらしの道具ーハレの日いろいろー」展示解説書 一宮市博物館たんけんブック／令和3年度企画展「妙興寺文書の世界」／令和4年度企画展「くらしの道具 これな～んだ？」展示解説書 一宮市博物館たんけんブック／令和4年度企画展「没後50年 郷土史家 森徳一郎 浅野研究から一宮市史へ」／令和4年度特別展「西田眞人 一の宮を描く」／令和5年度企画展「くらしの道具 妖怪ぞろぞろ」展示解説書 一宮市博物館たんけんブック／令和5年度企画展「尾張の文人画 森コレクションを中心に」／林野鷺宮遺跡発掘調査報告書ー物流施設建設工事に伴う発掘調査報告書ー（一宮市埋蔵文化財調査報告XII）
一宮市三岸節子記念美術館	特別展「墨は流すものー丸木位里の宇宙ー」
一般財団法人 古橋会 古橋懐古館	古橋懐古館だより15～ 17号
一般財団法人地域創造	地域創造レター No.347～349、352～353、356～357／雑誌『地域創造』第50号/アウトリーチから考える文化芸術の役割
一般財団法人名古屋城振興協会	名古屋城振興協会所蔵作品集 武具・甲冑
犬山市	犬山市史 資料編 平成
岩倉市教育委員会	御山寺遺跡発掘調査報告書ー宅地造成事業に伴う発掘調査ー
馬の博物館	馬の博物館 研究紀要 第24号
江戸東京博物館	江戸東京博物館NEWS Vol.120～121／江戸東京博物館紀要 第15号
恵那市教育委員会	恵那市史 平成合併編
大口町歴史民俗資料館	大口町歴史民俗資料館 研究紀要XX／大口町歴史民俗資料館年報 26
大府市歴史民俗資料館	大府市歴史民俗資料館年報 35
岡崎市教育委員会	瀧山寺日吉山王社総合調査報告III 建造物 日吉山王社本殿保存修理工事報告書
岡崎市美術博物館	ARCADIA 98～101

寄贈者（敬称略）	書名
各務原市歴史民俗資料館	かかみがはら百科 Vol.5
春日井市教育委員会	郷土誌かすがい 第83号／春日井市遺跡解説パンフレット その10 春日井の窯業遺跡―須恵器から染付磁器まで―／春日井市遺跡発掘調査報告書 第22集 大留荒子古墳―大留荒子古墳 発掘調査報告書―／令和5年度 市内遺跡調査概要報告書
春日井市道風記念館	道風記念館だより 第70号～73号／特別展「岡寺版集帖」
神奈川大学日本常民文化研究所	民具マンスリー 第56巻11～12号／民具マンスリー 第57巻1～12号／神奈川大学日本常民文化研究所論集 41 歴史と民俗
蟹江町教育委員会	蟹江町歴史民俗資料館 年報 第45冊
可児市	可児市埋文調査報告 61 宮之脇7号墳発掘調査報告書／可児市埋文調査報告 60 可児市市内遺跡発掘調査報告書（R2～R4年度）
可児市郷土歴史館	可児市郷土歴史館 特別展「美濃金山城跡国史跡指定10周年記念 森氏と家康―城郭研究の最前線から― 記録集」
株式会社オフィスげんぞう	三河の笹踊り 1965-1969
株式会社クマヒラ・ホールディングス	抜萃のつづり その八十四
株式会社山川出版社	日本史のなかの愛知県
刈谷市教育委員会	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画書　令和2年4月～／国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書16
刈谷市美術館	コレクション展「生誕150年 和田英作展」
刈谷市歴史博物館	刈谷市指定文化財「鉄錆地塗紺糸縅塗込仏銅具足・尉頭形兜」修復・調査報告書／刈谷市歴史博物館・郷土資料館 令和5年度 年報(第5号)／刈谷市歴史博物館ニュース Vol.16～18／刈谷市歴史博物館研究紀要 第4号／刈谷城跡確認調査報告書ー亀城公園再整備事業に伴う埋蔵文化財調査ー／企画展「めでたきとり」／企画展「刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位」／宮東第1号貝塚埋蔵文化財調査報告書（平成10～28年度調査）
岐阜県博物館	岐阜県博物館調査研究報告 第44号／岐阜県博物館報 第47号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	令和5(2023)年度 岐阜関ヶ原古戦場記念館 年報ー第4号ー
行田市郷土博物館	行田市郷土博物館収蔵資料目録 諸家文書目録４／行田市郷土博物館報 第22号／市制施行75周年記念 第37回企画展「布をまとうー古代人の衣ー」／市制施行75周年記念 第34回テーマ展 「お伊勢まいりと行田」
桑名市博物館	特別企画展「生誕百年 小林研三ーモンペエ会と桑名のアートシーン」
公益財団法人 愛銀教育文化財団	Ayuchi No.98～100
公益財団法人 日本防炎協会	防炎ニュース No.236
公益財団法人犬山城白帝文庫歴史文化館	歴史文化館だより Vol.23～24
公益財団法人瀬戸市文化振興財団	企画展「喫茶とせとやきー喫茶具にみる瀬戸窯の歴史ー」
公益財団法人ちゅうでん教育振興財団	えるふ Vol.35
公益財団法人栗東市スポーツ協会	はっくつ2023ー栗東市話題の発掘調査ー／企画展「埋蔵文化財 発掘調査成果展ー平成から令和へー」／栗東市埋蔵文化財発掘調査報告 2022(令和4)年度 年報／栗東市文化財調査報告書第212冊 総遺跡発掘調査報告書 令和5年度1次調査／栗東市文化財調査報告書第209冊 高野遺跡発掘調査報告書 令和5年度1次調査
公益社団法人日本文化財保護協会	「紀要」第8号 2024.9／令和6年度 会報「飛天」／令和6年度埋蔵文化財調査要覧

寄贈者（敬称略）	書名
幸田町教育委員会	幸田町 町村合併70周年記念「町を伝える、暮らしを伝える―こうたの歴史と幸田町70年の歩み―」／幸田町埋蔵文化財調査報告 第2集 須美向屋敷跡調査報告書
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日 第121号～124号／高知県立歴史民俗資料館年報 令和5年度 No.33
江南市歴史民俗資料館	江南市歴史民俗資料館年報 令和5年度
国際芸術祭「あいち」地域展開事業実行委員会	底に触れる 現代美術 in 瀬戸
国立歴史民俗博物館	令和6(2024)年度 国立歴史民俗博物館要覧
小牧市教育委員会	市内遺跡発掘調査報告書 (27)／創垂館保存修理工事報告書／文政十三年～弘化三年 小牧宿問屋諸記録ー混迷を深める小牧宿ー（江崎家文書より）
埼玉県立川の博物館	かわはくNo.79～80
静岡市歴史博物館	企画展「今川義元 ―偉大なる駿河の太守―」／企画展「走れ！しずてつ」／静岡市歴史博物館研究紀要創刊号
静岡新聞社	歩いて学ぶ東海道57次
枝下用水資料室	続・枝下用水日記 No.14～15／枝下用水 地域とともに
新城市鳳来寺山自然科学博物館	鳳来寺山自然科学博物館60周年記念 館報 第53号
鈴鹿市考古博物館	令和6年度特別展「ちいさな古墳のかわいい埴輪たち」／鈴鹿市考古博物館年報 第25号
諏訪市教育委員会	諏訪市埋蔵文化財調査報告第85集 市内遺跡発掘調査報告書(令和5年度)―長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書―
多治見市教育委員会	多治見市文化財保護センター研究紀要第17号
田原市教育委員会	田原市埋蔵文化財調査報告書第14集 渥美半島貝塚群Ⅰ 報告編
田原市博物館	田原市博物館研究紀要第13号 田原の文化第47号／崋山会報 第52号
玉川文化財研究所	神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書ー下土棚諏訪ノ棚遺跡第8次調査ー
中京大学	中京大学文学会論叢 第十一号
知立市文化協会	ちりふ文化 第174～175号
東海国立大学機構 大学文書資料室	東海国立大学機構 大学文書資料室ニュース 第41号
東海市教育委員会	愛知県東海市 令和5年度 高ノ御前遺跡発掘調査報告
徳川美術館	AOI No.131～133
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部	第18回 無形民俗文化財研究協議会報告書 民具を継承する 安易な廃棄を防ぐために
常滑市とこなめ陶の森	とこなめ陶の森 特別企画展「常滑焼と越前焼―六古窯の広がりと技術の確立―」
富山県埋蔵文化財センター	理文とやま VOL.165～168
富山県埋蔵文化財センター	令和6年度特別展「と・YAMATAI国ー弥生時代の富山へタイムスリップー」
富山市教育委員会	市史だより～いま、須津古墳群が熱い～vol.8
豊川市教育委員会	菟足神社貝塚
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム年報 令和4年度／豊川市桜ヶ丘ミュージアム年報 令和5年度／特別展「とよかわ紋・藩ワールド」
豊田市	令和4年度市内発掘調査事業概要報告書／重要文化財/旧鈴木家住宅民具調査報告書 之弐 商家・旧紙屋鈴木家のたしなみの道具／豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第88集 寺部遺跡XII―20区・総括編―／豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第90集 挙母城(桜城)跡 II ／令和４年度市内発掘調査事業概要報告書
豊田市博物館	こどもはくぶつかんだより 創刊号／こどもはくぶつかんだより vol.2／豊田市博物館開館記念展「旅するジョウモンさん―5千年前の落とし物―」

寄贈者（敬称略）	書名
豊田市民芸館	豊田市民芸館だより 第37号
トヨタ博物館	トヨタ博物館/富士モータースポーツミュージアム 年報 2023年度版
豊橋市教育委員会	再発見！豊橋の遺跡ー豊橋平野に眠る縄文遺跡・大蚊里貝塚ー／豊橋市埋蔵文化財調査報告書第161集 馬越長火塚古墳群(Ⅱ)／豊橋市埋蔵文化財調査報告書第162集 東田遺跡(Ⅲ)／豊橋市埋蔵文化財調査報告書第163集 市内遺跡発掘調査ー令和3年度ー
豊橋市美術博物館	風伯Vol.116～118
名古屋市教育委員会	伊勢山中学校遺跡第13次発掘調査報告書ー集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー／高蔵遺跡第63次発掘調査報告書／企画展「西区比良遺跡と弥生文化」／千音寺遺跡第10次・第11次発掘調査報告書ー商業施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー／千音寺遺跡第9次発掘調査報告書／長久寺遺跡第2次発掘調査報告書／田光遺跡ー宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー／尾張元興寺跡ー第19次発掘調査報告書ー／富士見町遺跡(第11次)発掘調査報告書／名古屋の山車行事総合調査 鳴海・有松の山車行事調査報告書／名古屋市文化財調査報告111 埋蔵文化財報告書94 桜神明社古墳(試掘調査)／名古屋市文化財調査報告112 埋蔵文化財調査報告書95 新尾頭1丁目遺跡／名古屋市文化財調査報告113 埋蔵文化財調査報告書96 熱田ーB遺跡(第3次)／名古屋市文化財調査報告114 埋蔵文化財調査報告書97 大門遺跡／名古屋市文化財調査報告115 埋蔵文化財調査報告書98 志段味古墳群V／名古屋市文化財調査報告116 埋蔵文化財調査報告書99 大曲輪遺跡(令和3・4年度調査)／名古屋市文化財調査報告117 埋蔵文化財調査報告書100 国史跡 大高城遺跡 附 丸根砦跡 鷲津砦跡／名古屋市文化財調査報告118 埋蔵文化財調査報告書101 片山神社遺跡(第5次) 松ヶ洞16号墳 仁所遺跡(第4次)／名城公園遺跡発掘調査報告書ー地下横断歩道整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
名古屋市博物館	名古屋市博物館だより 237～238号
名古屋市美術館	ART PAPER 125～127
名古屋市蓬左文庫	蓬左 107～108号
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要17～18号
名古屋城調査研究センター	特別史跡名古屋城跡 御深井丸・小天守西側発掘調査報告書／特別史跡名古屋城跡 西之丸き損地点発掘調査・修復報告書／名古屋城調査センター研究紀要 第5号／名古屋城調査研究センターだより 第5号／名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査報告書 第7次・第8次／名古屋城史料叢書 2 国秘録 御巡覧留続篇
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第四十二集
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第43号
西尾市岩瀬文庫	岩瀬文庫だより No.80～83／企画展 「昔むかしのSDGs」／企画展「をかしくあはれな平安文学～「源氏物語」とその周辺～」／企画展「酒ー岩瀬文庫資料にみる酒の歴史と文化ー」／特別展「『新編西尾市史 別編1/資料編4』刊行記念 隠れた宝、再発見。」
西尾市教育委員会	新編西尾市史 資料編 4 近世 2 ／新編西尾市史 別編2 自然 1
野田史料館	野田史料館報 第169号～171号
白山市立松任中川一政記念美術館	獨行道 第三十三号
浜松市地域遺産センター	令和4年度 浜松市文化財年報／浜松の文化財 6 蜆塚遺跡
浜松市博物館	浜松市博物館報 第36号

寄贈者（敬称略）	書名
浜松市文化財センター	桓武西宮遺跡８
半田市博物館	半田市立博物館 年報・紀要 令和4年度
彦根城博物館	彦根城博物館だより 145～148
日立市郷土博物館	市民と博物館 No.147～150
平塚市教育委員会	平塚市試掘・確認調査報告書５／平塚市埋蔵文化財シリーズ54 山王B遺跡ー第7地点ー
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書 第59集／藤沢市文化財調査報告書 第60集
藤沢市生涯学習部	神奈川県藤沢市 市内遺跡試掘・確認調査報告４／神奈川県藤沢市 今田遺跡第4次調査 発掘調査報告書
富士市教育委員会	富士市埋蔵文化財調査報告 第77集 沢東A遺跡 第28次 住宅造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書／富士市埋蔵文化財調査報告 第78集 東平遺跡 第136地区／富士市埋蔵文化財調査報告 第79集 富士市内遺跡発掘調査報告書ー令和4年度ー／市史だより Vol.7／富士市埋蔵文化財報告 第80集 天間沢遺跡D・E・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P地区（４・５・７・８・９・10・11・12・13・14・15・16地区）
碧南海浜水族館	碧南海浜水族館年報 第37号 2023
碧南市教育委員会	碧南市史資料別巻十三 菊間藩大浜陣屋の記憶ー激動の明治をたどるー
碧南市藤井達吉現代術館	碧南市藤井達吉現代術館 年報 令和2･3年度/研究紀要 No.7／春陽会誕生100年 それぞれの闘い
町田市立自由民権資料館	自由民権 37
松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課	松江市歴史史料集6 駅々御本陣御間取絵図 （行列関係史料集1）
三重県総合博物館	開館10周年記念・第36回企画展「パール 海の宝石、神秘の輝き」／みえんしす 44号～47号／開館10周記念・第38回企画展「刀剣 三重の刀とその刀工」／開館10周年記念・第37回企画展「標本 あつめる・のこす・しらべる・つたえる」／三重県総合博物館 年報 通巻10号(令和5年度)／三重県総合博物館研究紀要 No.10／三重県総合博物館資料叢書 No.10
三重県博物館協会	三重県博物館協会50周年記念誌
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告書425 薦生遺跡(第1・2次)発掘調査報告～名張市薦生～／三重県埋蔵文化財調査報告186-13 田辺城跡発掘調査報告／三重県埋蔵文化財調査報告423 一般国道42号新宮紀宝道路建設事業 鵜殿西遺跡（第1～５・７～10次)発掘調査報告～三重県南牟婁郡紀宝町～／三重県埋蔵文化財調査報告書424 中館遺跡発掘調査報告
三河武士のやかた家康館	企画展「家康合戦譚～いくさにまつわるエトセトラ～」
瑞浪市教育委員会 スポーツ文化課	瑞浪市文化財調査報告書 第5集（大湫宿・森川家文書調査報告書 1）大湫宿森川家と塩商い 森川清左衛門義有の生涯
美濃加茂市民ミュージアム	みのかも文化の森ミュージアムニュースvol.115、117
みよし市立歴史民俗資料館	平成29(2017)年度 市内埋蔵文化財発掘調査報告書／平成30(2018)年度 市内埋蔵文化財発掘調査報告書
本居宣長記念館	ふみの森探検隊通信 第51～53号／鈴屋学会報 第40～41号

寄贈者（敬称略）	書名
有限会社吾妻考古学研究所	神奈川県茅ヶ崎市西久保上ノ町遺跡第20次調査 発掘調査報告書／横浜市旭区上白根おもて遺跡第2地点 発掘調査報告書／横浜市栄区 飯島久保遺跡 発掘調査報告書／鎌倉市報国寺遺跡(上杉能憲邸跡)一発掘調査報告書一／神奈川県伊勢原市池端・金山遺跡第3地点 発掘調査報告書／神奈川県海老名市大谷坊原遺跡 第2次調査 発掘調査報告書／神奈川県鎌倉市玉縄城跡 発掘調査報告書一鎌倉市関谷435番地外7筆・鎌倉市関谷424番地1外6筆一／神奈川県茅ヶ崎市大屋敷A遺跡第6次調査 発掘調査報告書／神奈川県茅ヶ崎市浜之郷宮ノ腰遺跡第16次調査 発掘調査報告書／神奈川県秦野市大原遺跡2018一09地点 発掘調査報告書 ／神奈川県藤沢市稲荷台地遺跡群石名坂遺跡第6地点 発掘調査報告書／神奈川県藤沢市大庭羽根沢東遺跡第3次調査 発掘調査報告書／神奈川県平塚市稲荷前B遺跡第9地点 発掘調査報告書／神奈川県平塚市御殿E遺跡第2地点 発掘調査報告書／神奈川県平塚市坪ノ内遺跡第12地点 発掘調査報告書／神奈川県平塚市道半地遺跡第8地点 発掘調査報告書／秦野市草山遺跡2014一05地点 発掘調査報告書／川崎市宮前区水沢二丁目遺跡第2地点 発掘調査報告書／川崎市高津区影向寺遺跡第21・22次調査 発掘調査報告書／川崎市高津区上作延南原遺跡第3地点 発掘調査報告書／川崎市高津区新作二丁目遺跡第3地点 発掘調査報告書／川崎市高津区末長久保台南遺跡 発掘調査報告書／川崎市高津区末長姿見台遺跡第4地点 発掘調査報告書／川崎市中原区井田いりの上遺跡(神庭遺跡)第４地点 発掘調査報告書／川崎市麻生区片平寺台遺跡 発掘調査報告書／藤沢市亀井野三屋向遺跡第2次調査 発掘調査報告書／藤沢市御幣山遺跡第8次調査 発掘調査報告書／神奈川県茅ヶ崎市小桜町遺跡第1次調査 発掘調査報告書
吉川弘文館	日本歴史 第912号
四日市市	ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財「鳥出神社の鯨船行事」調査報告書／南島組鯨船感應丸 屋形屋根幕新調事業報告書
栗東歴史民俗博物館	栗東歴史民俗博物館だより Vol.45／栗東歴史民俗博物館紀要 第30号
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.32-1～3／立命館平和研究 立命館大学国際平和ミュージアム紀要 第25号

利用状況

貸出・閲覧資料一覧

資料名
有舌尖頭器　9点
画像データ「碧海台地の有舌尖頭器」（『新編知立市史3 資料編 考古（原始・古代・中世）』）
画像データ　歌川国貞画「八つはしの図」
画像データ　横額「(正気の歌)」(内藤家資料)
画像データ　掛軸「(正気の歌)」(内藤家資料)
画像データ「(江戸御府内図)」
画像データ「(江戸御府内図)」
画像データ「知立町地図」
画像データ「中部日本大観」
「(谷田村本林地区屋敷開拓地反別書絵図)」(水野家文書)
「中村長照院山地割図」(水野家文書)
「(弘法山地割図)」(水野家文書)
「静岡事件 村上左一郎救援寄贈懇請願」(内藤魯一関係文書)
画像データ「東海道池鯉鮒宿街道絵図」
画像データ「以書付得御意候」(内藤魯一関係文書)
画像データ「金沢村へ御遣しニ相成候者」(内藤魯一関係文書)
画像データ「今朝御遣しなされ候者」(内藤魯一関係文書)
画像データ「過日は蒙御眷憐」(内藤魯一関係文書)
画像データ「以書付得御意」(内藤魯一関係文書)
画像データ「以書付得御意」(内藤魯一関係文書)
画像データ「過刻御出頭之直示決へ」(内藤魯一関係文書)
画像データ「以書付得御意」(内藤魯一関係文書)
画像データ「以書付得御意」(内藤魯一関係文書)
画像データ「御談申前々条」(内藤魯一関係文書)
画像データ「脱藩記」(内藤魯一関係文書)
画像データ「春来事情誌」(内藤魯一関係文書)
画像データ「日記　宿・賄等手配之事」(内藤魯一関係文書)
画像データ「板倉勝尚儀過日御処置被仰付」(内藤魯一関係文書)
画像データ「奥羽諸賊ト同盟」(内藤魯一関係文書)
画像データ「今般王政御復古御一新の折柄に付」(内藤魯一関係文書)
画像データ「今日一統江御達之趣」(内藤魯一関係文書)
画像データ「右者十二月十日世良氏墓参之節」(内藤魯一関係文書)
画像データ「任重原藩大参事」(内藤魯一関係文書)
画像データ「福島行雑費控」(内藤魯一関係文書)
画像データ「福島行雑記」(内藤魯一関係文書)
画像データ「福島行雑記」(内藤魯一関係文書)
画像データ「前書大略御海容奉希候」(内藤魯一関係文書)
画像データ「尊書難有拝誦仕候」(内藤魯一関係文書)
画像データ「前文大略御用捨被成下」(内藤魯一関係文書)
画像データ「愈御壮健被為渡」(内藤魯一関係文書)
画像データ「三河三弘法命日」
画像データ「弘法縁日のにぎわい」(『新編知立市史7 資料編 民俗』)
画像データ　和田英作画「知立神社の社」

資料名
画像データ「愛知縣碧海郡知立町全略圖」
画像データ「知立の松並木」
画像データ『中町祭礼帳』第1冊
画像データ「三河新知立駅の全景」
画像データ「知立駅前」
画像データ「若いころの魯一」(内藤魯一関係文書)
画像データ「板垣退助」(内藤魯一関係文書)
画像データ「植木枝盛書簡」(内藤魯一関係文書)
画像データ「大日本国憲法草案」(内藤魯一関係文書)
画像データ「魯一銅像」(内藤魯一関係文書)
画像データ「衆議院議員時代の魯一」(内藤魯一関係文書)
画像データ「衆議院議員当選証書」(内藤魯一関係文書)
画像データ「板垣君遭難之図」(内藤魯一関係文書)
画像データ「福島行雑記」(内藤魯一関係文書)
画像データ「東海道池鯉鮒宿宿並図」
燕子花図屏風(複製)
長線(複製)
画像データ「花鳥図」(『新編知立市史 別巻 文化財編』)

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)	一日あたりの平均来館者数(人)
4月	1,485	25	59.4
5月	1,608	27	59.6
6月	1,182	25	47.3
7月	1,727	25	69.1
8月	1,773	26	68.2
9月	1,470	26	56.5
10月	1,319	26	50.7
11月	1,104	19	58.1
12月	1,887	23	82.0
1月	1,315	22	59.8
2月	2,859	24	119.1
3月	2,330	22	105.9
合計	20,059	290	69.2

文化財保護事業概要

文化財保護事業

文化財保護

＜文化財管理委託業務＞

知立の松並木保存委託、文化財保存用地管理委託（荒新切遺跡・丸山古墳・牛田城跡・八橋古城跡・業平塚）を実施しました。

＜文化財防火訓練＞

第 71 回文化財防火デー消防訓練を下記のとおり実施しました。

日時　令和 7 年 1 月 31 日（金）午前 10 時

場所　知立神社境内



＜文化財管理報奨金＞

天然記念物 5 件（県指定 1 件、市指定 4 件）の管理者に対し、報奨金支払を行いました。

＜文化財事業補助金＞

下記の文化財保存修理事業に補助を行いました。

・来迎寺古城塚環境整備事業

下記の無形民俗文化財保存伝承活動事業に補助を行いました。

・知立からくり保存会伝承活動事業
・知立山車文楽保存伝承活動事業
・神楽保存伝承活動事業
・知立山車連合保存会保存伝承活動事業
・義太夫後継者育成事業

文化財管理

＜案内板設置＞

知立市指定文化財・古城塚への案内看板を設置しました。

愛知県指定文化財・知立の松並木の案内看板を改修しました。

埋蔵文化財事業

令和 6 年度の埋蔵文化財包蔵地の照会件数は 150 件で、そのうち該当 22 件、非該当 128 件でした。

また文化財保護法第 93 条第 1 項の規定による発掘の届出受理・県への進達およびその取り扱いは、下記一覧表の通りです。

No.	遺跡名	事業内容	取り扱い	備考
1	腰前遺跡	建物解体	工事立会	
2	荒新切遺跡	個人住宅	慎重工事	
3	高道遺跡	建物解体	工事立会	
4	己ノ池遺跡	ガス管埋設工事	慎重工事	
5	荒新切遺跡	電柱及び支線建替工事	慎重工事	
6	己ノ池遺跡	個人住宅	慎重工事	
7	鍛治荒井遺跡	個人住宅	慎重工事	
8	天白遺跡	ガス管埋設工事	慎重工事	
9	腰前遺跡	個人住宅	慎重工事	
10	高道遺跡	宅地造成	発掘調査	
11	腰前遺跡	集合住宅	慎重工事	
12	鍛治荒井遺跡	個人住宅	慎重工事	
13	高根遺跡	集合住宅	慎重工事	
14	腰前遺跡	建物解体	工事立会	
15	重原城跡・本郷貝塚	建物解体	工事立会	
16	鍛治荒井遺跡	ガス管埋設工事	慎重工事	
17	小針遺跡	個人住宅	発掘調査	
18	腰前遺跡	個人住宅	慎重工事	令和7年度通知
19	己ノ池遺跡	個人住宅	慎重工事	令和7年度通知
20	小針遺跡	建物解体	工事立会	令和7年度通知
21	高道遺跡	電柱及び支線新設工事	慎重工事	令和7年度通知
22	高道遺跡	ガス管埋設工事	慎重工事	令和7年度通知

文化振興事業概要

文化活動推進事業

義太夫お試し教室

国指定重要無形民俗文化財でありユネスコ無形文化遺産にも登録されている「知立の山車文楽とからくり」の後継者育成事業です。上演の際、三味線にあわせて人形浄瑠璃芝居を語る役目を太夫といい、その太夫と三味線の初心者向けの稽古を行うものです。平成 29 年度から実施しています。

- □ **講師**　知立市義太夫会等
- □ **日程**　令和 6 年 5 月から令和 7 年 3 月の毎月第 4 土曜日　午後 6 時～8 時
- □ **場所**　知立市中央公民館
- □ **受講者**　18 人





□ **成果発表会**

11 月 10 日（日）、パティオ池鯉鮒の中庭（光のパティオ）で開催された「秋の山車文楽上演」の中で、教室受講生も発表を兼ねて「傾城阿波の鳴戸　順礼歌の段」、「二人三番叟」を、竜北中学校山車文楽部の方々とともに上演しました。



第１６回知立市小中学生百人一首大会

百人一首を通して、児童生徒の日本の伝統・文化への関心を高めることを目的として、平成 18 年度から開催しています。大会後には、知立市出身の川瀬将義氏による模範演技も行いました。

- □ **日時**　練習会　令和 6 年 6 月 29 日（土）
  7 月 27 日（土）

大　会　令和６年８月２日（金）

□　**場所**　　知立市中央公民館　講堂

□　**競技方法**　各部対抗戦

ア　小学生１～３年生の部

イ　小学生４～６年生の部

ウ　中学生の部

□　**参加者**　　小学生１～３年生の部　２名

小学生４～６年生の部　８名

中学生の部　　８名





条例・規則

知立市歴史民俗資料館条例

昭和 62 年 9 月 30 日
条例第 17 号

改正　平成 19 年 10 月 1 日条例第 20 号

（趣旨）

第１条　この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の２の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の設置及び管理について、必要な事項を定めるものとする。

（設置及び名称）

第２条　郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に寄与するため資料館を設置する。

２　資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称　知立市歴史民俗資料館　　位置　知立市南新地二丁目３番地３

（管理）

第３条　資料館の管理は、知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が行う。

（職員）

第４条　資料館に館長及び必要な職員を置く。

（入館料）

第５条　資料館の入館料は、無料とする。

（委任）

第６条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

（附則　省略）

知立市歴史民俗資料館管理規則

昭和 62 年 9 月 30 日
教育委員会規則第 4 号

改正　平成 4 年 3 月 25 日教委規則第 3 号　　平成 6 年 3 月 24 日教委規則第 5 号
　　平成 10 年 3 月 24 日教委規則第 6 号　　平成 11 年 8 月 25 日教委規則第 4 号
　　平成 23 年 6 月 24 日教委規則第 2 号　　平成 24 年 5 月 24 日教委規則第 6 号

（趣旨）

第１条　この規則は、知立市歴史民俗資料館条例（昭和 62 年知立市条例第 17 号）第 6 条の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理及び運営に関し、必要な事項を定める。

（事業）

第２条　資料館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

（１）郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集保存及び展示に関すること。

（２）資料に関する調査研究に関すること。

（３）資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。

（４）その他知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めた事業を行うこと。

（職員）

第３条　資料館に館長、館長補佐、係長、担当係長、専門員、学芸員及びその他の職員を置くことができる。

（職務）

第４条　館長は、上司の命を受けて資料館の管理及び運営の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

２　館長補佐は、上司が命ずる事務を処理し、館長を補佐する。

３　係長は、上司の命を受け、係に属する事務を処理し、所属職員（担当係長を含む。）を指揮監督する。

４　担当係長、専門員及びその他の職員は、上司の命を受け、あらかじめ指定された事務又は業務を処理する。

（開館時間）

第５条　資料館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

２　前項の規定にかかわらず委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

（休館日）

第６条　資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

（１）　毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。）

（２）　1 月 1 日から 1 月 3 日まで及び 12 月 29 日から 12 月 31 日まで

（３）　館内整理日（毎月第 4 金曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その前日）

（４）　特別整理期間（毎年 1 回委員会が定めた 10 日以内の期間）

（入館制限）

第７条　委員会は、次に該当する場合は、施設等の利用を許可しない。

（１）　入館者に迷惑をかけ、又は資料及び資料館の施設、附属設備等を損傷するおそれがあると認めたとき。

（２）　公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。

（３）　専ら営利を目的とする行為を行うとき。

（４）　その他管理上支障があると認めるとき。

（弁償の義務）

第８条　故意又は過失により資料館資料をき損した者は、相当の代価をもって弁償しなければならない。

（資料の利用）

第９条　学術調査、研究等のため閲覧、撮影、模写等で資料を直接利用しようとするときは、館長の許可を受けなければならない。

（資料の収集）

第 10 条　資料の収集は、購入、寄贈、寄託及び借用とする。

（資料の寄贈）

第 11 条　館長は、寄贈の申出があったときは、適当と認めるものについて資料寄贈申出書（様式第１）により受納することができる。

（資料の寄託）

第 12 条　一般の公開に供する目的をもって資料館資料を寄託しようとする者は、資料寄託申出書（様式第２）を提出し、館長の許可を受けなければならない。

２　寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、資料館から寄託の申し込みをしたときは、この限りではない。

３　寄託された資料は、寄託者の請求又は資料館の都合によりこれを返還する。

（借用の手続）

第 13 条　資料館が資料を借用するときは、あらかじめ所有者又は管理者の承諾を得たうえ資料借用書（様式第３）を交付する。

（免責）

第 14 条　資料館は、寄託及び借用資料が天災その他避けがたい理由により生じた損失については、その責任を負わないものとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りではない。

（委任）

第 15 条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

（附則及び様式　省略）

知立市文化芸術基本条例

平成 30 年 3 月 26 日条例第 19 号

改正　平成 31 年 3 月 20 日条例第 18 号

私たちのまち知立市は、いにしえからの豊かな歴史と文化を築き育む風土を大切に受け継いできました。

在原業平や松尾芭蕉が歌に詠み、尾形光琳が描いた燕子花図屏風で知られる八橋のかきつばた。歌川広重が描いた馬市の名残を残す東海道の松並木。明治神宮から御下賜された知立公園の花しょうぶ。そして、ユネスコ無形文化遺産に登録された知立祭りの山車文楽とからくり。これらは知立市の宝であり、先人たちが大切に守り育ててきた文化芸術活動のたまものです。

これら受け継がれてきた文化芸術と、新たに生まれる文化芸術が混ざり合い、私たちのまちは形作られています。

文化芸術を自由に創造し、享受することは、人々の生活に楽しみや潤い、精神的な豊かさや活力をもたらすとともに、人々をつなげ、連携させる力があります。この文化芸術の持つ力は、産業、観光、教育、福祉の発展、コミュニティづくり、多文化共生の促進など幅広い分野において重要な役割を担うものであり、住みよく活力あるまちづくりのためになくてはならないものです。

私たちは、文化芸術の価値を認識し、様々な文化芸術を受け継ぎ、発展させるとともに、新たな文化芸術の創造と普及を総合的かつ計画的に進めることにより、一人ひとりが文化芸術とともに生きる豊かな地域社会の形成を目指し、ここに条例を制定します。

（目的）

第１条　この条例は、文化芸術に関する施策に関し、その基本理念を定め、並びに市民、文化芸術団体、学校及び事業者（以下「市民等」という。）並びに市の役割を明らかにするとともに、文化芸術に関する施策の基本となる事項を定めることにより、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする。

（定義）

第２条　この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　文化芸術　文化芸術基本法（平成13年法律第148号。以下「法」という。）第８条から第13条までに規定する振興その他の施策の対象となる文化芸術その他これらに類するものをいう。

（２）　市民　次に掲げる者をいう。

ア　市内に住所を有する者

イ　市内の事業所等に勤務する個人

ウ　市内の学校に在学する個人

エ　市内において、文化芸術に関する創造的活動、文化芸術を支援する活動その他の文化芸術に関する活動（以下「文化芸術活動」という。）を行う個人

（３）　文化芸術団体　市内において、文化芸術活動を行う法人その他の団体及びその連合体をいう。

（４）　学校　市内の学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第１条に規定する学校その他学校教育に類する教育を行う教育施設をいう。）をいう。

（５）　事業者　市内に事業所等を有する法人その他の団体及び個人をいう。

（６）　多文化共生　国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、地域社会の構成員と

して共に生きていくことをいう。

（基本理念）

第３条　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市民等の自主性及び創造性が十分に尊重され、市民等による多様な文化芸術活動が理解され、及び促進されるよう配慮されなければならない。

２　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、誰もが文化芸術を創造し、誰もが享受する、そのことが人の生まれながらの権利であることを踏まえ、全ての市民がその年齢、障害の有無、経済的な状況、国籍、民族等にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図られなければならない。

３　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、歴史や風土の中で培われ、先人から引き継がれてきた文化芸術が保存され、及び記録され、並びに将来に継承されるよう配慮されなければならない。

４　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市の内外に広く文化芸術が発信されるとともに、文化芸術を通じて交流が促進されるよう配慮されなければならない。

５　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術に関する教育の重要性に鑑み、学校、文化芸術団体、家庭及び地域における活動の相互の連携が図られるよう配慮されなければならない。

６　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、広く市民等の意見が反映されるよう十分配慮されなければならない。

７　文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

（市の役割）

第４条　市は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、市の歴史、風土等地域の特性を踏まえて文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するものとする。

２　市は、文化芸術に関する施策を推進するに当たり、必要に応じ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の施策と連携を図るものとする。

３　市は、文化芸術に関する施策を推進するとともに、遊びや憩いの機会が創出されるよう努めるものとする。

４　市は、文化芸術に関し、調査、研究、記録、保存及び発信に努めるものとする。

（市民の役割）

第５条　市民は、基本理念にのっとり、文化芸術の果たす役割と自らがその担い手であることを認識するとともに、主体的にその活力と創意を生かして、広く文化芸術の創造及び発展に努めるものとする。

（文化芸術団体の役割）

第６条　文化芸術団体は、基本理念にのっとり、自主的かつ創造的に文化芸術活動を推進するとともに、文化芸術活動に参加する市民との協働により、文化芸術活動の充実に資するよう努めるものとする。

（学校の役割）

第７条　学校は、基本理念にのっとり、幼児、児童、生徒等が文化芸術活動を体験し、及び文化芸術に関する作品に触れる機会の充実を図り、並びに文化芸術を担う人材の育成、地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

（事業者の役割）

第８条　事業者は、基本理念にのっとり、地域社会を構成する一員として、その保有する資源を活用し、地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

（基本計画）

第９条　教育委員会は、法第７条の２第１項の規定に基づき、文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画（以下「基本計画」という。）を定めるものとする。

（子どもの文化芸術活動への参加等の機会の確保）

第10条　市及び市民等は、次代を担う子どもの豊かな人間性を育むため、子どもが優れた文化芸術に触れ、及び創造的な文化芸術活動に参加する機会の確保に必要な取組を行うよう努めるものとする。

（高齢者、障害者等に対する文化芸術に関する施策の充実）

第11条　市及び市民等は、高齢者、障害者等が文化芸術に親しむとともに、自主的な文化芸術活動を行うことができるよう、必要な取組を行うよう努めるものとする。

（伝統的な文化芸術の保存等）

第12条　市及び市民等は、伝統的な文化芸術の保存及び継承並びに発展に努めるものとする。

（国際文化交流の推進等）

第13条　市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、国際交流の推進に努めるものとする。

２　市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、多文化共生の推進に努めるものとする。

（人材の育成）

第14条　市は、文化芸術に関する創造的活動を行う者、文化芸術活動を支援する者その他の文化芸術を担う者の育成に努めるものとする。

（文化芸術に関する環境の整備と連携の強化）

第15条　市は、文化芸術活動が活発に行われるような環境の整備を図るものとする。

２　市は、文化芸術に関し、市民等の連携の強化及び促進に資する施策の実施に努めるものとする。

（財政上の措置）

第16条　市は、文化芸術に関する施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

（顕彰）

第17条　市は、文化芸術の振興に寄与した者の顕彰に努めるものとする。

（知立市文化芸術推進会議）

第18条　教育委員会の諮問に応じ、基本計画その他の文化芸術の推進に関する重要事項を調査審議させるため、法第37条の規定に基づき、知立市文化芸術推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

２　推進会議は、委員15人以内で組織する。

３　委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

（１）　学識経験を有する者

（２）　文化芸術団体を代表する者

（３）　福祉又は学校教育の関係者

（４）　市民

（５）　その他教育委員会が必要と認める者

４　委員の任期は、２年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期

間とする。

5　委員は、再任を妨げない。

6　前各項に定めるもののほか、推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（委任）

第19条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この条例は、平成30年４月１日から施行する。

附　則（平成31年３月20日条例第18号）

（施行期日）

1　この条例は、平成31年４月１日から施行する。

（知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）

2　知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和45年知立市条例第34号）の一部を次のように改正する。

別表中「福祉体育館運営審議会委員」を「福祉体育館運営審議会委員　文化芸術推進会議委員」に改める。

知立市歴史民俗資料館年報　令和６年度

令和８年１月３０日　発行

編集　知立市歴史民俗資料館
　　愛知県知立市南新地二丁目３番地３
発行　知立市教育委員会